

諮問事項

鳥獣保護区特別保護地区及び 狩猟鳥獣捕獲禁止区域の再指 定について

環境局 自然保護課

諮問内容

1 鳥獣保護区特別保護地区の再指定

(1) 県立森林公園地区（浜松市浜北区）

2 狩猟鳥獣（イノシシ・ニホンジカを除く。）捕獲 禁止区域の再指定

(1) 桜木上垂木地区（掛川市）

静岡県内における位置

県立森林公園鳥獣保護区
特別保護地区
(浜松市浜北区)

桜木上垂木狩猟鳥獣
(イノシシ・ニホンジカを除く)
捕獲禁止区域
(掛川市)

R2 静岡県鳥獣保護区等位置図

鳥獣に関する区域の区分

区分	鳥獣保護区 特別保護地区	鳥獣保護区	狩猟鳥獣捕獲禁止区域 (加害鳥獣を除く)	一般区域
目的	鳥獣の保護 (生息地の保護)	鳥獣の保護	鳥獣の保護	—
指定期間	10年	10年	3年程度	—
捕獲の行える期間	禁止	禁止	猟期 3か月 (11月15日～2月15日)	猟期 3か月 (11月15日～2月15日)
狩猟 (狩猟鳥獣が対象)	×	×	△ (指定した加害鳥獣のみ 狩猟可)	○
地形改変等 行為	(許可を要する行為) 建築物の新築等 水面の埋め立て 木竹の伐採	—	—	—

1 鳥獣保護区特別保護地区の再指定

(1) 県立森林公園地区（再指定）

指定区分：身近な鳥獣生息地

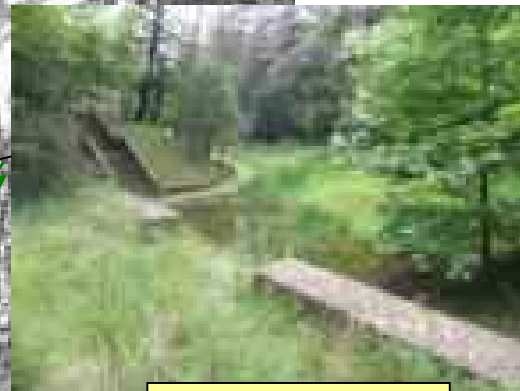
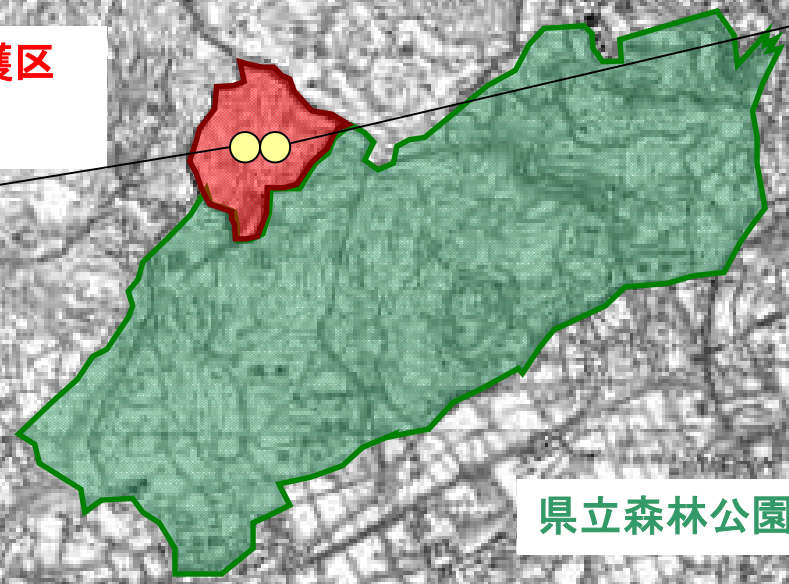
面積：35ha

存続期間：令和3年11月1日から
令和13年10月31日まで

県立森林公園鳥獣保護区特別保護地区

県立森林公園鳥獣保護区
特別保護地区

西ノ谷奥池



水辺の広場



県立森林公園鳥獣保護区



(指定理由)

昭和48年に鳥獣保護区特別保護地区に指定
(以後、期間更新期に再指定)

①県立森林公園の一部

⇒狩猟の規制により公園利用者の安全を図る必要あり

②鳥獣の生息の好適地

⇒地形改変等行為を規制し、鳥獣の生息地・
繁殖地として保護を図る必要あり

③利害関係者の同意等

浜松市や地元自治会、猟友会から同意が得られている

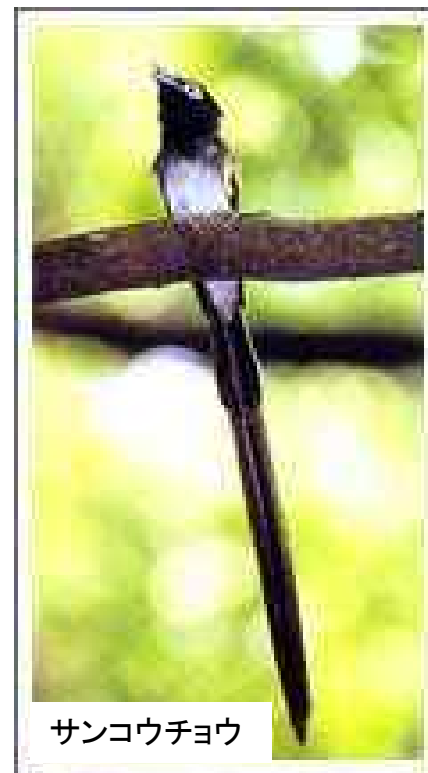
指定区域の状況



令和2年度県立森林公園利用者数

県立森林公園利用者 75万9千人(推定)

観察できる野鳥



過去の有害鳥獣捕獲の状況(過去3カ年)

- ・有害鳥獣捕獲許可件数 : なし
- ・加害鳥獣(被害作物、樹木名等) : なし

区域内に農耕地・人工林がなく、引き続き鳥獣保護区特別保護地区として指定することによる、農林産物への影響はないと考えられる

市街地近傍に位置する自然に触れ合うことのできる地域であり、引き続き野生鳥獣の生息環境の保護を図る。

2 狩猟鳥獣(イノシシ・ニホンジカを除く)捕獲 禁止区域の再指定

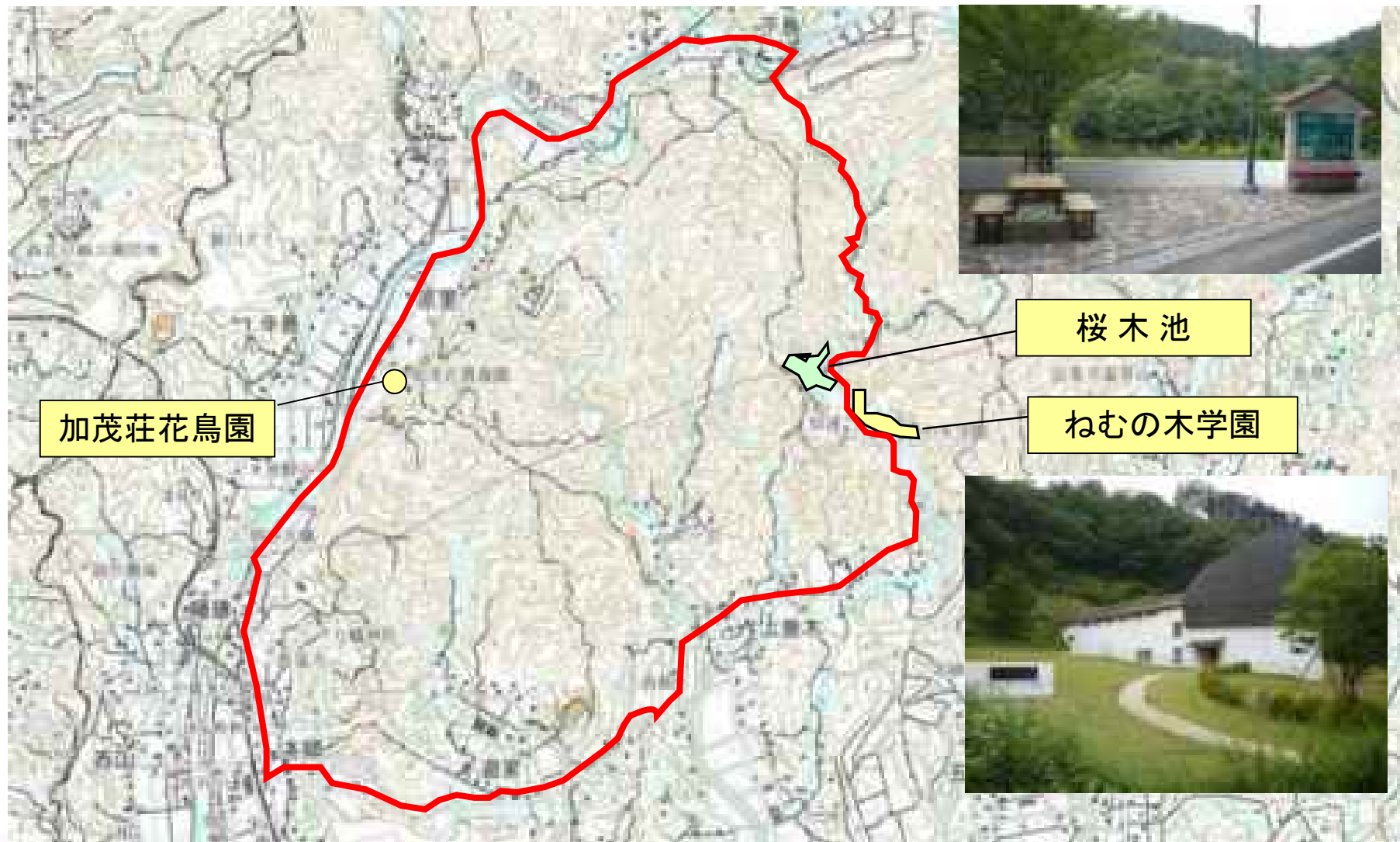
(1) 桜木上垂木地区 (再指定)

位 置 : 掛川市

面 積 : 1,090 ha

存続期間 : 令和3年11月1日から
令和6年10月31日まで

桜木上垂木狩猟鳥獣(イノシシ・ニホンジカを除く)捕獲禁止区域



(指定理由)

①野生鳥獣の保護

自然環境が豊かであり、多様な動物が生息している

周辺での確認種

鳥類：サンコウチョウ、オオタカ、クマタカ、オシドリ等
獣類：ホンドリス、ムササビ等

②狩猟に伴う事故の防止

周辺に養護施設や文学館等の施設あり

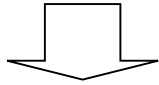
③イノシシ被害が依然として多く、ニホンジカも増えている 防除対策だけでは被害が防げない

④利害関係者の同意等

掛川市や地元自治会、猟友会から同意が得られている

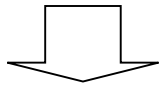
(指定経緯)

平成11年に鳥獣保護区に指定



イノシシ被害の増加

平成21年に狩猟鳥獣(イノシシ・ニホンジカを除く。)捕獲禁止区域に指定



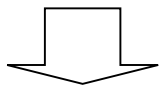
平成24年、27年、30年に再指定

掛川市から当該区域の再指定の要望

地元住民(部農会、自治会)

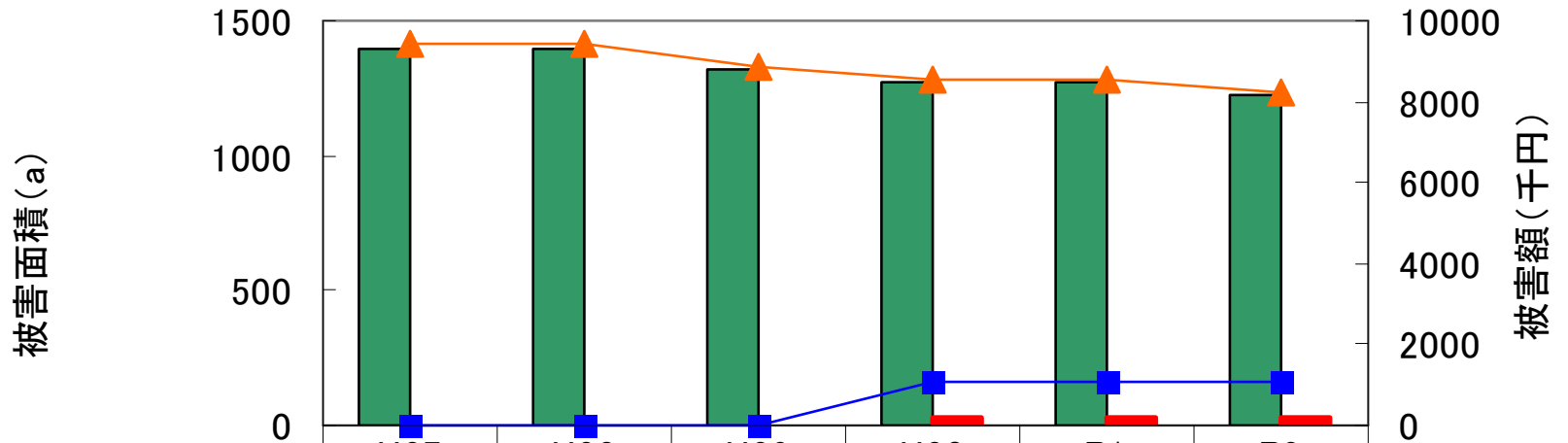
⇒被害防止対策をしてきたが、未だ被害が減少していないので、このまま狩猟によるイノシシの捕獲を続けたい





⇒ニホンジカが増えてきていて心配である



引き続き狩猟鳥獣(イノシシ・ニホンジカを除く。)捕獲禁止区域として指定する

過去6年間の農業被害面積と被害額の推移 (掛川市全体)



 イソシ被害面積	1400	1400	1316	1274	1272	1229
 ニホンヅカ被害面積	0	0	0	27	27	26
 イソシ被害金額	9400	9400	8836	8554	8544	8254
 ニホンヅカ被害金額	0	0	0	1092	1091	1054

農業被害対策の状況

R2掛川市鳥獣被害防止対策設備設置費補助状況(市全体)

件数 : 216件
補助額 : 472万円(1/3補助)
補助内容 : 電気柵、フェンス 等

地元住民の声

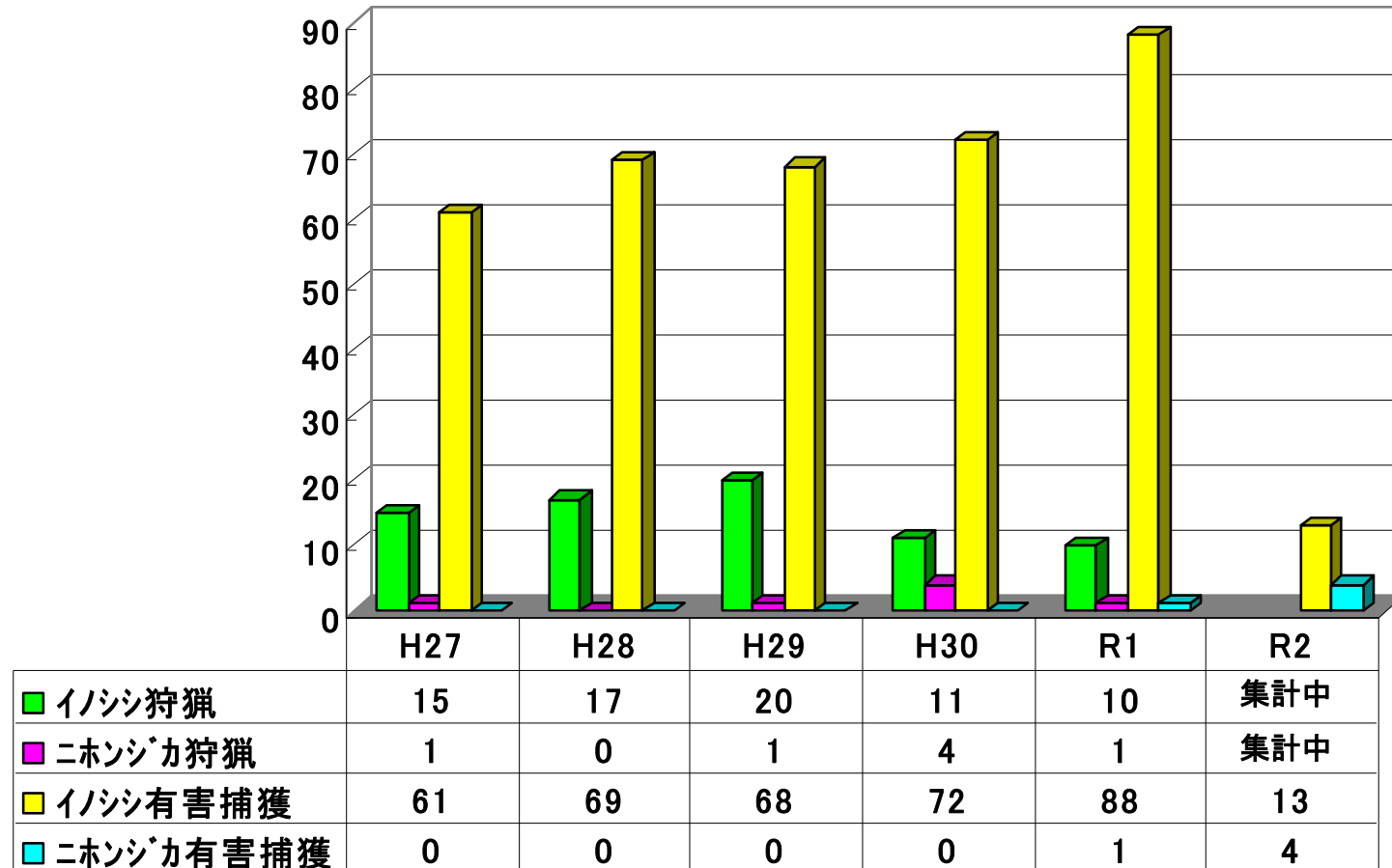
- ・草が生い茂る時期は漏電防止のため電気を切るが、そうすると中に入られて畑を荒らされてしまう

掛川市担当者

- ・有害捕獲は、トラブル防止のため狩猟期間中は取りやめている

⇒ 防除対策だけでは被害が防げない

過去6年間の捕獲頭数の推移(地区内)



市は、地元農家の自衛を目的としたわな免許の取得を促すため、狩猟免許取得費用を助成

(指定の効果)

① 鳥獣の保護・静穏な環境維持

(サンコウチョウ、オオタカ、ムササビ等)

⇒イノシシ・ニホンジカ以外の鳥獣は保護される

② 農業被害対策

⇒被害対策として年間を通じたイノシシ・ニホンジカの捕獲が可能になる

鳥獣保護と農業被害対策の両立を図る

スケジュール(案)

県環境審議会（第1回） 諮問	5月14日
鳥獣保護管理部会 審議	7月
県環境審議会（第2回） 答申	9月
県公報 告示	10月末まで
狩猟期間 開始 (イノシシ、ニホンジカの狩猟)	11月15日～ (11月1日～)